

1130

昨日の総評五万全島学生千五百の謀起を基百人 16.17 訪米阻止中央共斗

佐藤訪米阻止に向け、総評全国ストを軸に庄朴的高揚をみらどる。

全市大の学生、院生、教職員諸君、70年安保の自衛延長と沖縄の接付を還を策動する「佐藤訪米」に対する阻止斗争は、昨日の総評の全国ストを轟破口として庄朴的高揚をかう取つた。

早朝の六時通勤組のストに始まつた年い日、日教組昇の公務員、全通、全連、全團道等公企企業体労働者の斗争として継承され、行進於に於ける戦後最大の政治ストとして結実した。一方沖縄にあつては初日復帰由主催の全県民抗議ストが全島にわたりて繰り広げられた。とりわけ教職業公に結集する労働者を中心とする16日未2万5千人は24時間のストライキで決起した。又、大阪の地では大阪地評翼下52単元36万人が集会を開き、5万人の大行進を貫徹した。これら庄朴的高揚労働者の決起に呼応して佐藤訪米阻止斗争を斗つ全関西の学友は、中之島創崎公園に於いて学生共斗主催の全関西総決起集会をもち、も莉より扇町の総評集会に結集し一千五百名の庄朴的な成績を村築した。扇町公園入り口で数本の火炎喷射器を投げることにより阻止斗争をキッたとするトロツキスト諸君のみじめに斗争ではなく学生共斗のみが東のキウ部隊として存在したのだ。

昨日の庄朴的高揚を更に16-17訪米阻止中央共斗争に結実せしめよ。

我々は昨日の斗争の成功に満足するのではなく、佐藤訪米阻止斗争が10-11の前段斗争を経て昨日11-13において本番に入ったのであることを再度確認しよう。昨日の斗争の成果は当然のことながらJRの首都における斗争に庄朴的に継承させなければならぬ。我々学生共斗はトロツキ派にかられる若初家のみの現地効見といつて譲まつた現地II中央斗争の位置付けを形じて、各地方における斗争を斗争に抜く中で、その成果を中央斗争に結果させねばならないのだ。

大阪における総評、行署、反安保市民共斗のキハは、10・21に只、つれた譲まつた其半原則による中央での社共共斗を批判する現実的舞力として断固譲是、基本成術の一に基く共斗」という原則を貫徹してるのである。そして毎日の斗争も恣りてみつた。そういう斗争は今や「大阪方式」として各地で高く評価されつつある。この「大阪方式」を中心においても実現しキハ抜く事本我々の任ムとはフである。又、大阪の部隊の中での自分の斗争を原則的競争的且つ太極的に進めて来た唯一の島主生徒会である學生共斗の存在は、全関

佐藤訪米阻止学生共斗 委実行大市

西の労働者の中で大々的な期待を集めている。我々はかかる期待に応え、大阪市域、全電通区同心とした中央斗争代表田の庄朴的な態度で中央に送り込むべく労働者部隊と固く連絡して、学生部隊の代表団を

決意である。そして半島にありて終評労働者を中心とした反官保全の実行委員会にて開幕して、70年代への斗争の展望を一切語り得ない極正日雇労働主義である裏方阻止を恒舌く、規定的力關係の創出による在日労働米阻止の斗争を打撃すべく断乎斗ハ振ぐであらう。

全市大の學生、院生、教職員諸君、
本日3時より行なわれる11・15終括及び中央斗争代表派遣組成集会に参加し中央斗争を斗う意志統一を勝ち取ろうではないかアヤ。

＊スケジュール＊

14日 3時 半島斗争終括及び中央斗争派
遣組成集会 330教室

15 2時 中央代表派遣組別斗争

中央島津ニスコート……

……余モ……中央斗争便局

(主) 中央斗争代表者団出席

16 9時 半島斗争終括及び斗争

(反官保全の実行否)

終代表木公団

午後10時 中央斗争連絡集会

（反官保全の実行否）

終代表木公団

17 中央斗争 “在日労働米阻止”